

事業名		道路改築事業		路河川名等	(一)信濃追分(停)線・(一)借宿小諸線						
事業毎の通番		1	市町村名	軽井沢町	箇所名(ふりがな)	追分(おいわけ)					
事業概要	事業目的	一般県道信濃追分停車場線は、一般県道借宿小諸線から信濃追分駅へ、一般県道借宿小諸線は、軽井沢町から、佐久市、小諸市へ至る路線であり、国道18号の渋滞箇所を迂回して利用され、交通量が多い。両線とも通学路となっており、地域の生活道路としても重要な路線であるが、当該箇所は車道幅員が狭く、歩道も設置されていない。本事業は、車両通行の円滑化と歩行者の安全確保を図るため、道路拡幅を行うものである。									
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	5-2 快適で暮らしやすいまちづくり(暮らしを支える道路網の整備)		事業実施の根拠法令等	道路法						
	関連する事業、計画等	しあわせ信州創造プラン借宿バイパス線新設改良計画(軽井沢町事業)通学路合点検実施箇所									
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	計画交通量:6,829台/日									
	着手年度	平成29年度	事業期間	6年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)					
完成年度(見込み)	平成34年度	費用対効果	1.3		国庫	330,000	其他	県債	243,000	一般財源	27,000
全体事業内容(主な工種)	道路築造工L=660m W=6.0(9.75m)			600,000							
年度事業内容(主な工種)	道路詳細設計、橋梁詳細設計 一式			15,000	8,250		6,075		675		
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	走行時間、走行経費等の減少 7億円 通学路対策、老朽橋対策									
	間接的効果(定量的・定性的)	観光振興 渋滞緩和									
評価の視点	必要性	○代替道路の有無：代替路はあるが、渋滞箇所がある ○交通結節点アクセス：しなの鉄道信濃追分駅アクセス ○生活支援、観光地振興：教育施設との連携(軽井沢西小学校)、観光地へ通じる道路(軽井沢) ○地域の活性化：大型ショッピング施設(軽井沢)アクセス								評価	A
	重要性	○関連計画、重点施策との整合：しあわせ信州創造プラン「調査箇所」 ○緊急輸送道路の路線指定：軽井沢町緊急輸送路 ○地域指定:なし								評価	B
	効率性	○費用対効果(B/C)：1.3 ○事業期間：6年間(H29~H34) ○工法等の比較検討：歩道を片側設置としてコストを削減、線形の比較検討 ○他事業との連携：借宿バイパス線新設改良計画(軽井沢町事業)								評価	A
	緊急性	○近年の交通事故件数：4件(H23~H25) ○危険箇所対策：渋滞を緩和する ○歩道整備：歩道未整備区間に歩道を整備及び通学路対策 ○道路構造：現況幅員5.0m								評価	A
	計画熟度	○事業情報の共有：関係者を中心に周知(H28.5月に住民説明会を実施) ○地域の取組み：積極的な取り組みがある(県道借宿小諸線・信濃追分停車場線道路改良促進期成同盟会からの要望) ○地域の合意形成：合意形成が図られている ○住民との協働：地元(追分区、借宿区)において道路清掃を実施								評価	A
	部意見	事業の必要性、効率性及び、緊急性が高いため、平成29年度から新規事業化した。	行政改革課意見	現道は小学校の通学路に指定されているが歩道は未整備で、幅員が狭く、円滑な交通に支障をきたしていることから、緊急性が高く、必要性も認められる。	評価結果	○	総合評価	A			

【位置図】

【平面図】

事業概要説明図表

【写真】

道路幅員が狭く、円滑な通行に支障
通学路に歩道が設置されていない
車両通行が多いが幅員が狭い

①事業実施に至る 歴史的経緯・社会的背景	佐久市、小諸市と軽井沢をつなぐ路線であり、国道18号の渋滞箇所を迂回して利用され、交通量が多い。信濃追分駅東側では、国道18号と県道信濃追分(停)線を接続する町道バイパスが平成30年度開通予定であり、県道の改良について、地域の要望が強い。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	町道バイパスの整備に合わせた道路改築の要望が県道借宿小諸線・信濃追分停車場線道路改良促進期成同盟会から出されている。
③事業説明等の経緯	H28年1月に主要な地権者の意向確認を実施。 H28年2月に期成同盟会において事業説明、平成28年5月に地区全体を対象に事業説明会を実施し、事業目的に了解を得た。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	軽井沢町整備の町道との接続により、さらなる渋滞緩和の効果発現を図る。
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	土羽構造による緑化を図り環境へ配慮する。
⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により軽井沢(観光地、大型ショッピング施設)への交通の円滑化が図られ、地域の活性化が期待される。
⑦その他	VE(バリューエンジニアリング)によりルート案を検討。

事業代表地点の緯度経度
 北緯:N 36° 20' 02"
 東経:E 138° 33' 15"